

第8章 参加者所感

- プレス関係者の多くは、ノート PC に PHS や携帯電話を差してインターネットに接続していて勿体ない気がした。
- 無線 LAN は電波の周波数帯域の関係上仕方ないが、LAN 環境が自由に使えないのは外国記者に悪影響しか与えない。
- プレスルームに電話を置くくらいなら LAN の口を置いて欲しい。
- プレス関係者の立場になってみると各会場にインターネット接続ができる有線 LAN のハブが用意されていればかなり嬉しかったと思われる。
- 「MIS ドライバのインストール及び設定の困難さ」や「ネットワーク全体の不安定さ」を考えるとマリンメッセで無線 LAN 実験を行ってれば大変な状況になっていたと思う。
- 組織委員会は共有端末、我々実験関係者は無線 LAN 実験を主眼にしていたので有線 LAN の口はケアされない形になってしまった。
- 世界水泳に訪れたプレス関係者の通信形態を見ると、モデム (携帯/PHS/固定電話) を使っている人が大半で無線 LAN を使ったことのなさそうな人が多かった。
- 共有端末は連日盛況で、特に Web メールを使っている人が多かった。
- MIS に影響がでたり、無実のマルチキャストに影響が疑いがかかったりしたので共有端末のサブネットを分けるべきだったと後悔している。
- プレスルームからモデムを使用する人もいて、MIS の存在が知られていないのではと感じた。
- 潜在的な需要はもっとあったと思うので、アナウンスの仕方によっては利用者が増えたのではないかと思う。
- マリンメッセでは無線 LAN の貸し出しがなかったため仕事がほとんどなく、周りの水泳大会スタッフの人達にも何のために常駐しているのか理解されていないようで寂しかった。
- マリンメッセのネットワークが度々落ちる現象があり、ネットワークの脆弱性が露呈され、今後のネットワーク設計における教訓になった。
- 他会場での貸し出し業務にかかっていた手間を聞くと、実際メッセで実験していて我々の規模の人員でちゃんと処理できていたかどうかは疑問に思う。
- マリンメッセでは何もしていない状態なので、我々が何者かは説明できてもメッセにいる必要性や何を行っているのかを説明できるネタがなかったのが残念だった。
- プレスの方は自前のパソコンで選手データが参照できないため、共有端末でプリントアウトした情報をキーボードから入力するという非効率的な作業をしていた。
- 共有端末は別セグメントにしたほうが良かった。
- 高速無線 LAN のサービス (実証実験) は確かに早いのは事実だが、多くの人に使って貰えるようアピールすることは難しいと思う。
- マリンメッセ福岡のメインプレスセンターに比べて、西市民・博多の森共にプレスの数自体が少なく、ノート PC 利用者も少なめだった。
- 西市民でドイツ語 Windows への MIS ドライバのインストールに非常に手間取り (約 2 時間) 非常に気の毒だった。

- 西市民のプレス関の基地局 (7ch) では、かなりの近距離 (5-10m) で見通しもとれる場所で接続できないことがあった。
- MIS の無線 LAN カードは、ドライバのインストールと設定、および基地局との接続がうまくいってしまえば通信速度そのものは満足できるものだった。
- ホームエージェントマシンにおいてあるマリンメッセ福岡のネットワークトラブルのため接続できなくなるなど全体として不安定であった。
- 無線 LAN の貸し出しが少なかったが、そのかわりドライバインストールのサポートが 1 人に対して丁寧にできたのが幸か不幸か良かったと思う。
- インストールマニュアルの出来がよく、記者の方が自力でインストールできている人もいて感心した。
- 共有端末関連でマリンメッセのネットワークが不安定になり、実験に影響が出たのは非常に残念だった。
- ドライバのインストールに少し時間がかかるようだったがそれ以降は、たまに電波の受信が悪い時があったが快適に使用できた。
- モバイル IP を初めて利用してみて、これが広範囲で使用することができれば、かなり有効に利用できると思った。
- 無線ルータ間を渡り歩けるほど無線ルータの数が多くなかったのは残念である。
- 1 台の無線ルータがカバーできる範囲はせいぜい 20m で、場所によっては数メートルという場合もあった。
- MIS のカードの設定は、設定箇所が多く苦労したが、一度設定ができてしまえばそれ以降は設定を変更する必要もなく便利だった。
- 実験の主旨を理解してカードを借りる人がいたかどうかは疑問。
- 無線 LAN 貸し出し WEB、貸し出し情報共有 WEB の作成をしたが、情報共有の WEB の利用方法が徹底されておらず入力忘れや入力ミスが多くでてしまった。
- マリンメッセでの無線の使用不可や各会場でのアピールが自由にできなかったことが影響し、MIS の利用者が少ないと感じた。
- ドライバ等のインストールは若干複雑で、あまりコンピュータに詳しくない人が自分で行うのは少し難しいと思う。
- 電波が意外に弱く、少し移動すると接続が一時的に切れてしまうことが度々あった。
- もう少し広範囲で安定して接続ができるようになれば、モバイル IP をより有効的に活用できるのではないかなと思う。
- MIS ドライバのインストールには時間がかかり、またインストール時に何度か同じ入力を行わなければならないのが面倒。
- MIS を利用しているとき突然接続が切れることがあり多少使いにくさがあったが、つながっているときは 2Mbps ほど通信速度はできていて十分快適だった。
- もう少しモニターが集まればよかったと思うが、実証実験という形では業務で使うプレスにとって若干不安な面があるのではないかなと思う。
- 県立プールの会場積で MIS のテストをしたとき、無線ルータから 20m 以内の範囲のみで使用できず、無線ルータ/アンテナの近くの放送機材等が影響を及ぼしていたと思う。
- モバイル IP そのものは試験用ということもあってか、インストールに大変時間を要すること、使用 OS が限定されていることが難点であると感じた。

- 県立プールでは共有 PC の利用者は多かった半面、自前のノート PC を持っている方は少なかったと思う。
- 競技結果等はプレスルームにすぐ紙媒体で配られていて大抵の人が普段と変わらず特に不便に感じるようなことがなかったと思う。
- 報道関係の人間の立場からすると、よく分からないドライバを自分の PC にインストールするのは抵抗があると思う。
- 記者の多くは公衆電話や携帯電話などを用いた接続をしており、実証実験が広く知られていないことを実感した。
- Windows2000 用の MIS ドライバがないのが残念だった。
- 会場のプレス関係者はほとんど PHS や固定電話を使用して、メールや FAX を送信しているようだった。
- 西市民ではカードの貸し出しは海外のプレスの方が多く、フランス語、ドイツ語 Windows へのドライバのインストールがなかなかマニュアルどおりにいかなかった
- Windows98(SE ではない) へのインストールが困難だった。
- MIS を使用できる環境になるまでの時間をもっと短縮することが必須だと思う。
- 無線が使用可能な状況にあるかチェックするためプレス席に行ったり、無線ブリッジの再起動をしたりと仕事がいろいろとあった。
- 県立プールでは無線のアンテナが悪いのか、プレス席や観客席で電波の届いていないエリアが多く、プレス席で使用するには席の場所を考慮しなければならなかったと思う。
- 福岡市は 5 年前の ADB の経験を全く無駄にしているという感想。
- 無線 LAN を使用するときには、前もって全ての関係者にこちらからの使用状況を聞くようにすべき。
- 行政が間に入ると分からなくなるので、直接のコネクションの確立が必要だと痛感した。
- v6 Web サーバに関して全く稼働できず残念だった。
- ミラーサーバ計画が中断してしまって残念だった。
- 実証実験の準備において組織委員会との情報共有、打合せ及び調整が全般的にうまくいかなかった。
- 実証実験を進めていく上で、決定権をもつキーマンを早めに見出し交渉を進めるだけでなく、協定書等を取交し両者の立場を明確にすることの必要性を感じた。